

東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会
第2回委員会

議事録

出席者：楢田，朱牟田，庄司，能島，山崎，丸山（議事録）

1. 日時：2012年5月14日（月） 15:30～17:30
2. 場所：神戸大学大学院工学研究科 C1-202
3. 議事次第
 - 1) 委員長挨拶
 - ・楢田委員長から挨拶があった。
 - 2) 福島県いわき市の埋設管データのデータベース化の状況について
 - ・楢田委員長から福島県いわき市への訪問とデータ入手に関する状況説明があった。
 - ・提供を受けたものは、上水道管路網はPDFファイル（被害点はGIS）、下水道管路網はCADデータであった。
 - ・いわき市上水道管の管路網のGIS化の状況について説明があり、進捗を確認した。管路については、道路データをもとにして、画像ファイルを読み取りながらGIS化した。
 - ・上水道の被害については、本震と余震による被害が区別できる。
 - ・管路の埋設年度も把握できる。
 - 3) 福島県いわき市との共同研究の計画について
 - ・楢田委員長から経緯の説明があり、上水道データの提供を受ける際に、先方から共同研究の申し出があったとの報告があった。
 - ・8/3午前に福島県いわき市へ訪問し、先方と打ち合わせを行う（委員会は8/2に開催予定）。
 - ・この際に、いわき共同ガスへの訪問について打診してみる。
 - 4) 他の市町のデータの共有化に向けて
 - ・楢田委員長より、他地域のデータ作成状況について説明があった。
 - ・各委員より、他地域のデータ収集の状況について報告があった。
 - 5) データベース化の役割分担について
 - ・データの共有化の仕組みについて意見交換を行った。具体的な流れについては、次回以降の委員会で議論する。
 - ・千葉県浦安市、宮城県仙台市への被害データ提供の申し出について検討する。
 - ・関東学院大学若松教授に当委員会の委員就任を打診する。
 - ・各委員がすでに持っているデータで、委員会内での共有が可能なデータがあれば、次回以降に具体的な共有方法について検討を行う。